枚方市平和（戦争遺跡）ガイド

平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン） 地図検索 B-7 ア

平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）は、21世紀の平和のシンボルとして、市制50周年にあたる、1997（平成9）年度に岡東中央公園（現ニッペパーク岡東中央）に建設されました。カリヨンとは、調律された鐘を複数組み合わせてメロディーを演奏する組み鐘のことです。「ヒラリヨン」は、市民公募により決定された愛称で、枚方とカリヨンの合成語です。1日10回、定時に流れるそのメロディーは人々に親しまれています。

㊢ 枚　方　市

非核平和都市宣言

全世界の平和と安全は、全人類共通の念願であり、よりよい生活を築き、守り、維持していくための基本理念であります。

しかるに、それらの念願、理念に反して、究極戦争の道具である核兵器は、依然として拡充、拡散され、人類の生存に深刻な脅威を与えています。

私たちは、原子爆弾投下による被爆の体験を通して、平和を希求する誇り得る憲法を持ち、戦争の放棄を誓っています。

地球上から戦争と核兵器をなくすことは、日本国民の責務であります。平和を求め、核兵器廃絶を叫ぶ大衆の声は、ここ数年、時を追って大きくなってきています。

枚方市は平和を愛する人達の住む町として核兵器の廃絶、製造設備及び手段の廃棄を訴えて、ここに非核平和都市となることを宣言します。

1982年（昭和57年）12月21日

銘板 地図検索 B-7 D-9 ケ

非核平和宣言柱 地図検索 F-7 G-4 G-10 ク

ア~キ 戦争遺跡など（立入に制限がある場合もあります）

イ1 など 自由に立ち入りできない遺跡など

発行日:2009年3月1日（2022年8月30日第六刷）
発　行:枚方市人権政策室
枚方市大垣内町2丁目1-20
TEL 072-841-1259（直通）FAX072-841-1700
監　修:枚方市立中央図書館市史資料室

環境に配慮した紙を使用しています。

香里団地（こうりだんち） 香里製造所と妙見山の煙突 地図検索 C-9 イ

現在の香里団地一帯には、戦時中、砲弾などの兵器用火薬を製造する「香里製造所」がありました。中国との戦争が激化してきた、1939（昭和14）年に、増大する火薬の需要に応じるため京都の宇治火薬製造所の新工場「宇治火薬製造所香里工場」として開設されました。人家も少なく、尾根と谷が天然の襞をなし、爆発事故の際、誘爆を防ぐ土塁の役目を果たす地形であったことが選定の理由でした。3年後、東京第二陸軍造兵廠香里製造所として独立。140ha（借地除く）の敷地、大小230棟の建物に、約5,000人の工員が働いていました。宇治製造所から送られてきた湿った状態の火薬を乾燥させ、砲弾や爆弾に詰めて完成品にする作業が中心でした。

妙見山の煙突は石炭を焚いたボイラーの煙突です。火薬に火気は厳禁で、乾燥にはボイラーで作ったスチーム熱を利用していました。煙突は鉄筋コンクリート製で高さ19.92m・直径2m。煙突の上方にある鉄の突起は、第二次世界大戦の時にアメリカ軍の飛行機からの攻撃を避けるために、木の枝をくくり付けて大きな木に見せるためのものです。

1955（昭和30）年、日本住宅公団（当時）が、この地域に大規模な住宅建設を計画し、翌年、香里団地の建設が始まりました。旧製造所の建物施設のほとんどは撤去され、近代的な団地に一変しましたが、妙見山の一角は団地計画から外れたため、煙突は残りました。

枚方市は、「不戦と平和」のシンボルとして、1984（昭和59）年にここの煙突を保存することにしました。

妙見山の煙突 地図検索 C-9 イ1

「東京第二陸軍造兵廠香里製造所第3汽鑵場煙突」2010（平成22）年度 耐震補強・補修工事を行いました。

平和の像「語らい」 地図検索 D-9 イ2

平和のモニュメントとして1994（平成6）年に設置されました。彫刻家・田中彰さんの作品です。

香里ケ丘支所のベンチ 地図検索 D-9 イ3

旧香里ケ丘支所は、戦時中の「香里製造所」の建物を使っていましたが、2007（平成19）年に建て替えられました。建て替えに際し市民の要望で、当時のベンチが残されることとなりました。現在も、新しい支所内で、市民の待ち合いのベンチとして利用されています。

香里団地の公園内に残る戦争の面影 地図検索 D-9・D-10 イ4

旧陸軍施設跡地

（南公園）貯水槽跡

（南公園）衛兵の詰所跡

（観音山公園）スチームを送ったパイプ

香里団地内には公園敷地以外にも、多くの石柱等が残っています。

（桜公園）

（桑ヶ谷公園）

公園等に点在する石柱

非戦の誓いの碑 地図検索 C-9 イ5

戦時中、「香里製造所」で、学徒動員されていた女学生の有志が、2008（平成20）年に建立。

平和を誓う記念碑「在りし軍国少女　非戦の誓い」が枚方市に寄贈されました。

当時の建築物（現 保坂小児クリニック） 地図検索 D-9 イ6

1964（昭和39）年に日本初の医療機関併設型病児保育室として開設され、現在は保坂小児クリニックとして平和的に利用されています。

戦時中は、「香里製造所」の収因室として、砲弾や爆薬に使用する火薬の製造などに使用されていた建物です。

（見学される際は、利用者のご迷惑にならないよう注意してください）

学童疎開と枚方

1944（昭和19）年、大阪市が学童集団疎開の準備を始め、学校ごとの疎開先を発表しました。旭区の大宮国民学校が津田・交野・星田の3町村に割り当てられ、9月17日に児童320人が引率教員14人と寮母22人とともに集団疎開してきました。いくつもの寺院に分宿し、本堂は教室にもなりました。

枚方では、東部の尊光寺 地図検索 G-4 コ1・善応寺 地図検索 G-4 コ2・円通寺 地図検索 G-4 コ3・明善寺 地図検索 F-3 コ4・勝円寺 地図検索 G-2 コ5・称念寺 地図検索 F-2 コ6・西方寺 地図検索 G-10 コ7・来雲寺 地図検索 G-10 コ8 などに分かれて疎開していました。そのうち、明善寺に疎開した引率教員の日記を1993（平成5）年に枚方市が発行しています。（立ち入りには、寺院の了解を得てください）

楠葉英霊墓地 地図検索 G-7 エ8

楠葉出身の3人が日清戦争で戦死したことにはじまり、その後、戦争で亡くなった33人の方が埋葬されています。近年、現地に移設されました。

市内に残る石碑や忠魂碑

1936（昭和11）年、当時の枚方町は、国威高揚のため記念碑を建立しました。

明治天皇御昼餐所石碑（三矢公園内） 地図検索 A-7 ウ1

1868（明治元）年、大坂行幸（天保山での軍艦操練観覧など）の際、昼食をとったことを記念して三矢の旧本陣跡に建立。2010（平成22）年度に現地に移設。

閑院宮大演習御観戦所石碑（意賀美神社梅林内） 地図検索 A-7 ウ2

1918（大正7）年12月、閑院宮載仁親王が万年寺山で陸軍大演習を観戦したことを記念して建立。

忠魂碑

戦死者を祈念する碑として日露戦争後、全国に広まりました。

忠魂碑は在郷軍人会分会が献金を募集し、小学校の一角などに建立されることが多かったようです。

旧牧野小学校横（殿山第一小学校） 地図検索 B-4 エ2

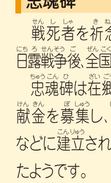
旧招提小学校横 地図検索 C-2 エ3

旧川越小学校横 地図検索 E-9 エ5

山田小学校横 地図検索 C-4 エ4

旧池跨小学校横 地図検索 A-10 エ6

意賀美神社内 地図検索 A-7 エ7



樟葉小学校横 地図検索 F-6 エ1

平和の像「恒久平和」 地図検索 G-3 キ

1987（昭和62）年、平和を望む市民の寄付金を基に、戦争による犠牲者の霊を慰めるとともに、核兵器の廃絶のシンボルとして、王仁公園内に建設されました。彫刻家・池田遊子さんの作品です。

平和資料室 地図検索 C-3 カ1

終戦から70年以上が経過した今日、戦争の体験や記憶を風化させることなく、平和の尊さを次世代に伝えていくため、中央図書館1階に平和に関する常設展示が可能となるよう資料室を開設しました。禁野火薬庫爆発のパネル展などを常設展示し、夏には特別展を開催しています。

戦争体験語り部動画を公開中!

戦争の恐ろしさや平和の大切さを伝え続けていくため、枚方市では、禁野火薬庫の爆発や戦時下の生活など、戦争体験を市民らが語る動画を公開しています。当時の貴重な体験を知ることができますので、皆さまぜひご覧ください。

中宮団地周辺（なかみやだんちしゅうへん） 禁野火薬庫の大爆発と枚方製造所 地図検索 B-4 オ

1896（明治29）年、中宮周辺一帯に陸軍の兵器用火薬や砲弾・弾薬を収蔵する禁野火薬庫が完成します。その後、東隣には砲弾や爆弾の製造を行う枚方製造所が1938（昭和13）年に設置されました。これによって、砲弾や爆弾の製造と火薬の充填が一貫して行われるようになり、国内屈指の一大軍需施設となりました。

禁野火薬庫は、1909（明治42）年に爆発を起こしています。このとき死者は出ませんでしたが、1939（昭和14）年3月1日に起こった大爆発では多くの死傷者を出しました。事故後、禁野火薬庫は3分の1の規模に縮小されますが、大阪陸軍造兵廠から火薬・信管工場が移転してきたため、空いた土地は枚方製造所に移管され、軍需施設自体は拡大することとなりました。（地図参照）

枚方製造所・禁野火薬庫ともに火薬を収蔵した倉庫は、爆発しても被害が拡大しないように、倉庫の屋根の高さまで達する堅牢な土塁で1棟ずつ囲まれていました。1945（昭和20）年の終戦により軍施設は閉鎖され、以後周辺開発に伴い土塁や建物・施設等は取り除かれましたが、旧高陵小学校の南側には禁野火薬庫の土塁が、また東側の枚門付近や中宮第三団地周辺には枚方製造所の土塁が残り、戦争の生き証人となっています。枚方市では、1995（平成7）年の被爆・終戦50周年を機に、中宮第三団地内の土塁（オ4）を平和のモニュメントとして位置付けました。

禁野火薬庫爆発犠牲者慰霊の碑

1939（昭和14）年の禁野火薬庫の大爆発で亡くなった人を慰霊する碑が建立されています。

殉職義烈之碑 地図検索 B-5 オ1

（禁野火薬庫工員38人の殉職者）大爆発の起点となった場所に建立

殉職記念碑 地図検索 B-5 オ2

（消防団の消火活動での殉職16人）

枚方工廠爆発殉難者慰霊塔 地図検索 C-5 オ3

（隣接する枚方製造所工員の犠牲者慰霊塔）

禁野火薬庫や枚方製造所の土塁跡

枚方製造所土塁跡 地図検索 B-5 オ4

旧高陵小学校横に残る土塁跡 地図検索 B-5 オ5

（枚方製造所）

火薬庫と製造所の境界の土塁跡 地図検索 B-5 オ6

近畿財務局枚方合同宿舎内公園 地図検索 B-5 オ7

2004（平成16）年、宿舎建て替えに伴う発掘調査で、禁野火薬庫で荷物運搬用に使われていたトロッコの枕木が出土し、この部材を公園に再利用しています。

車塚公園の平和モニュメントと被爆樹木2世

旧枚方製造所の建物の部材を、建物を引き継いだ民間会社から譲り受け、車塚公園に平和モニュメントとして設置しました。 地図検索 B-3 カ5

かつて兵器のまちであった記憶を遺すため、「平和のまち枚方」にふさわしい様々なモニュメントを制作しました。

石柱 地図検索 B-3 カ2

花崗岩の石柱は、旧枚方製造所内の消火栓など施設の位置を示していたものです。

コミュニティ花壇やサークル列柱 地図検索 B-3 カ3

使用している木材は、旧枚方製造所の建物部材の一部を難燃処理し再利用したものです。

被爆アオギリ2世、被爆クスノキ2世 地図検索 B-3 カ4

アオギリ

クスノキ

1945（昭和20）年8月6日広島市内で原爆投下後の惨禍を生き抜いたアオギリと、同9日長崎市内で原爆投下後の惨禍を生き抜いたクスノキの種から育てられたものです。平和の尊さを伝えるとともに、悲劇を再び繰り返さないよう、核の廃絶と平和の象徴として2002（平成14）年に広島市、2003（平成15）年に長崎市から譲渡されました。

共同墓地の移転 地図検索 B-3 カ6

現コマツ中斐田門の北側にあった地域の共同墓地を陸軍の要請に応じて1940（昭和15）年に現在の場所へ移設したものです。

中宮平和ロード 地図検索 C-5 オ8

終戦まで現JR津田駅と禁野火薬庫・枚方製造所までの間には軍用鉄道（現国道307号）が敷かれ、毎日大量の火薬や砲弾などが積み出されていました。

1991（平成3）年に、この軍用鉄道敷の一部であった中宮本町から中宮西之町までの約600メートルを「中宮平和ロード」として整備しました。

ここには、戦前の鉄道敷をしのばせるSL形のトンネルや線路沿いに立てられていた軍用電柱等を保存・設置しています。

市立ひらかた病院前の府道 地図検索 B-6 オ9

市立ひらかた病院前を通る府道枚方長尾線（現杉田口禁野線）は、高槻への物資輸送を目的のひとつとして、1938（昭和13）年に禁野火薬庫から当時の国道2号（現府道京都守口線）までの区間が完工しました。このため、京阪電車を高架にしたり、もともとあった里道や水路を跨いだりしました。

里道を跨ぐ府道

禁野火薬庫のトロッコ転車台 地図検索 B-6 オ10

禁野火薬庫内には線路が縦横に設置され、弾薬などをトロッコで運搬していました。トロッコが方向転換する際に使用していた転車台の基礎部とコンクリート製の枕木が、市立ひらかた病院建設に先立つ発掘調査で見つかり、2016（平成28）年に平和のモニュメントと位置づけ病院敷地内に展示しています。

3月1日は「枚方市 平和の日」

1939（昭和14）年3月1日に禁野火薬庫が大爆発を起こし、約700人もの死傷者を出しました。枚方市は1982（昭和57）年に大阪府内で初めて「非核平和都市」を宣言し、大爆発が発生した日から50年後、そして、1954（昭和29）年に第五福竜丸がビキニ環礁でアメリカ軍が行った水爆実験に遭遇し被ばくした日から、35年後の1989（平成元）年に、3月1日を「枚方市平和の日」と定め、毎年さまざまな記念行事を行っています。

―語り継ぐ戦争の悲惨さと平和の大切さ―
平和を願う黙とうを

枚方市では、原爆が投下された8月6日午前8時15分（広島）と、9日午前11時2分（長崎）、終戦の8月15日正午、国際平和デーの9月21日正午、枚方市平和の日の3月1日午後2時45分に、原爆と戦争犠牲者のめい福と恒久平和を祈念してニッペパーク岡東中央（岡東中央公園）の平和の鐘カリヨンを鳴らし、「広報ひらかた」でお知らせするなど、広く市民に1分間の黙とうを呼びかけます。

★各戦争遺跡には、駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
★なお、敷地内への立ち入り等について制限のある場合があります。それぞれのルールに従って見学をお願いします。
★公園内等、非常に足場が悪く危険な場所もありますので、充分にご注意ください。
★市内には、ここに掲載しきれなかった戦争遺跡や、まだ知られていない戦争遺跡も数多くあります。ご存知の方は人権政策室までお知らせいただきますようお願いします。

【参考資料】「戦争と枚方」、「枚方市史」第4・5巻、「語り継ぐ戦争体験」、「禁野火薬庫資料集」、「戦時下の枚方町」、「学童集団疎開の生活」「禁野本町遺跡（報告書）」、「いま・よみがえる 枚方の20世紀」他